

11/21 中東遠で初めての試み 林道を協働で維持管理



▲維持管理業務に従事する林道関係者ら

中東遠地域で初となる「かけがわ『山の道』愛護デー」が原泉地区内の「萩間・黒俣線」の林道で行われ、地元や天竜森林管理署、掛川市森林組合などから約30人が、側溝の閉塞除去や通行に支障のある枝の伐採などに従事しました。

同地区区長会長の山鹿秀雄さんは「山林の管理ができないと山崩れの原因にもなる。関係者の協力を得て今後も続けていきたい」と話しました。

11/17 未来の森サポーター協定 森づくりで地域活性化



▲協定書に署名するみなさん

市内の小関建設(株)とNPO法人時ノ寿の森クラブ、静岡県、掛川市の4者は、県庁で「しずおか未来の森サポーター協定」締結式を行いました。4者が連携し、倉真地区の時ノ寿地域で行う源流の森づくりを通して、地域を活性化する社会貢献活動などを推進します。

時ノ寿の森クラブ理事長の松浦成夫さんは「未来につながる出発点としたい」と話しました。

11/23 第2回小学生将棋大会 アプリでオンライン対戦



▲オンラインで行われた将棋大会

将棋によるまちづくり実行委員会(松井三郎会長)は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインによる第2回小学生将棋大会を開催しました。参加者37人は自宅からリモートで参加。低学年、中学年、高学年に分かれて、将棋アプリを活用して対戦を行いました。

西山口小学校4年生の高橋^{みつあき}光亮さんは「楽しくできました。今後も参加したい」と話しました。

11/23 スポーツ少年団交流大会 競技の粋を超えた交流



▲元気に走り出す子どもたち

東遠カルチャーパーク総合体育館「さんりーな」で、静岡県スポーツ少年団西部地区交流大会兼掛川市スポーツ少年団交流大会が開催されました。市内と県西部地区のスポーツ少年団から33チーム約200人が参加。功労団体の表彰や駅伝競走を行いました。

駅伝競走では、子どもたちが青空のもと、力強く走りきりました。